

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成20年10月14日
第739号

〒952-1209 佐渡市千種155
：0259(63)4156(直) 4115(代) FAX：4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail：kanai es@sado.ed.jp



秋は様々な行事があります。子どもによっては苦手なものもあるでしょう。そんな時は、おうちの方の励ましが支えとなります。今回から3回にわたり、福祉や医療に携わる方々から執筆していただいた原稿を掲載していきます。どうぞお楽しみに。

あたりまえのこと

中央福祉相談センター

馬場 菜緒

この夏、小6の女の子について御親族の方から相談を受けました。母親がその子どもの前で自殺を図った、その子どもにどう接していったらいいかとの内容でした。その日は葬儀の直後、状況は悲惨なもので、相談に来られた親族御自身も深く傷つき、大きな不安と戸惑いの中でお話された様子でした。

私たちは通常このような御相談に対しては、できるだけ大人が落ち着きと日常を取り戻し子どもが安心できる環境を整えること、子どもが不安や苦しみを様々な形で表現する可能性がありそれは自然なことであること、もしそのような様子がみられたら慌てずに受け止めることをお伝えします。

今回も同様の内容をお話しすることになったのですが、結果的には私たちの助言がない段階で、望ましい対応は行われていました。というのは、家族や親族の関係性、家庭と地域社会・学校とのつながり、子どもに対する学校の支援などが適切な状態にあることにより、自然と環境が整っていたのです。

心のケアは特別なものではなく、普段からの人間関係や日常生活の中でなされていくものです。あたりまえの難しさを感じつつ、改めて大切さを再認識した出来事でした。

配慮を要する子どもたちへの対応

～佐渡地区特別支援教育研修会に参加して～

新潟市特別支援教育サポートセンター 指導主事 西村圭子先生による、「特別支援教育を通して学級経営・学習指導を見つめ直す」という視点での講演を聞きました。通常の学級担任の先生方も多く参加されており、普段の指導の在り方を見つめるよい機会となりました。

その視点の1つとして、『適切な行動を理解させる工夫をしているか』と問われました。学級や学習のルールを先生は伝えていると思っけていても、子どもは分かっていないことがあります。そこで、適切な行動を理解させる工夫が必要になります。例えば、おしゃべりをやめさせるには、次のグッズが効果的だそうです。

表は赤・裏は黄色の直径10cm位の丸い紙を黒板に貼る。

赤は口をとじる。黄色は手を挙げて話す。というルールを確認する。

授業の場面で使用する。最初は10分くらいから始め、すぐに気付いた子どもを褒める。

みんなが守った時間を記録し、時間守ったから褒美に タイムを設けて楽しむ。(学級トークンシステムのような感じで)

単純で分かりやすいものです。お試してください。

(山口)

K - A B C 技能講習会に参加して

皆さんは目的地へ行く時どのように教えてもらいたいですか？

両津方面に向かって、いわみフードの前の道を右に斜めに曲がり、病院の前を通り過ぎて...と順を追って教えてもらう。

地図を書いてもらう。

では、九九を覚えるのはどちらの方法が好きでしたか？

$2 \times 1 = 2$, $2 \times 2 = 4$...と一つ一つ覚える。

一覧になった九九表を見て覚える。

人にはそれぞれ得意な情報処理の方法があります。情報を一つずつ順序よく理解していく方法と、情報を全体的なまとまりとして理解していく方法の二つです。前者を継時処理、後者を同時処理といいます。K - A B C 知能検査は、子どもにとってどちらの方法が得意かを明らかにするテストです。得意な方法が明らかになったら、それを活かした指導ができます。学習指導だけでなく、遊びや日常生活の指導にも応用可能です。得意な方法なら、子どもたちは効率良く苦手意識を少なくして学ぶことができるのです。大人も継次処理型かあるいは同時処理型かのどちらかに分かります。自分にとって分かりやすい方法が子どもたちにも分かりやすいのかどうか、違うやり方の方が合うのか、振り返ってみる必要があります。(金子)



お知らせ



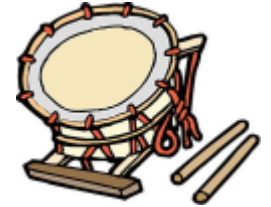
判定委員会の報告

9月29日(月), 金井小学校校長室にて第1回判定委員会が行われ, 計16名の入級が認められました。

親の会 コーナー - 緑心

楽しかった親子体験活動

9月21日(日), 佐渡太鼓体験交流館にて, 親子体験活動を行いました。総勢47名が参加しました。当日は鼓童の方から楽しく教えていただき, 大きな太鼓を力いっぱいたたいて心身ともにリフレッシュできました。



<参加された皆さんの感想>

1時間半がとても短かったです。太鼓の楽しさを味わえてよかったです。大きな太鼓の音が心に残りました。(子)

今日は太鼓をたくさんたたけて楽しかったです。教えてくれた『しんちゃん先生』は50歳にしては若かったです。(子)

本当に楽しかったです。太鼓をたたくことを通して自分を堂々と表現することができました。(保)

とてもよい体験をさせていただきました。子どもより親の方が喜んでいただけたかもしれません。

子育てワンポイントアドバイス その5

~お母さんが学ぶ 友達を作るための援助~

- (1) いつでも友達が遊びに来るおうちにしましょう。
- (2) お母さんとお父さんも子どもの友達と友達になりましょう。
- (3) 親子で訪問できる友達をつくりましょう。
- (4) 同じ学年, 同性かにこだわらず, 小さい子や年上の子も友達です。

年齢にこだわらない広いお付き合いが, 後々の人間関係や社会性の発達により影響をもたらします。

(「LD児の言語・コミュニケーション障害の理解と指導」
日本文化科学社 竹田契一 著 より)

